【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第１区分
【発行日】平成20年12月25日(2008.12.25)

【公表番号】特表2008-526668(P2008-526668A)
【公表日】平成20年7月24日(2008.7.24)
【年通号数】公開・登録公報2008-029
【出願番号】特願2007-549399(P2007-549399)
【国際特許分類】
Ｃ０３Ｂ　9/325　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０３Ｂ　9/325

【手続補正書】
【提出日】平成20年10月20日(2008.10.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ガラス製品成形機械におけるネックリング部分を整合させるための、中央ボディ（４４または６０または９４または１３２）を含むネックリングガイドにおいて、
前記ネックリングガイドは、ネックリング部分のガイドスロットに受け入れるための、前記中央ボディに連結された一対の間隔をへだてた平行ランナー（４６、４８または５８、５９または９６、９８または１３６、１３６）を含む、
ことを特徴とするネックリングガイド。
【請求項２】
前記ランナー（４６、４８または９６、９８または１３６、１３６）は、前記中央ボディと一体的に成形される、請求項１に記載のネックリングガイド。
【請求項３】
前記ランナー（５８、５９）は、前記中央ボディに交換可能に取付けられる、請求項１に記載のネックリングガイド。
【請求項４】
前記ランナーをネックリング部分のガイドスロット内に保持するためのキーパー（５０）を、前記ランナーの外側に含む、請求項１に記載のネックリングガイド。
【請求項５】
前記キーパーは、前記ランナーと一体的に成形される、請求項４に記載のネックリングガイド。
【請求項６】
前記キーパーは、前記ランナーに交換可能に取付けられる、請求項４に記載のネックリングガイド。
【請求項７】
前記ランナー（９６、９８または１３６、１３６）の各々は、ネックリング部分の１つにあるリテーナ要素を受け入れるための、少なくとも１つの長手方向に延びるスロット（１１０または１１８または１１４または１２２）を有する、請求項１に記載のネックリングガイド。
【請求項８】
前記ランナーの各々は、ネックリング部分の一方の第１のリテーナ要素（１００または

１０２）を受け入れるための、長手方向に延びる第１のスロット（１１０または１１４）と、ネックリング部分の他方の第２のリテーナ要素（１０４または１０６）を受け入れるための、長手方向に延びる第２のスロット（１１８または１２２）と、を有する、請求項１に記載のネックリングガイド。

【請求項９】

前記中央ボディに交換可能に取付けられる、別体の再利用可能なガイドプレート（１３４）を含み、

前記ガイドプレートは、ネックリング部分のガイドスロットに受け入れるための、間隔をへだてた平行ランナー（１３６）を有する、

請求項１に記載のネックリングガイド。

【請求項１０】

前記ガイドプレートは、取り外し可能な締め付け具（１４４）によって、前記ハブに交換可能に取付けられる、請求項９に記載のネックリングガイド。

【請求項１１】

前記ランナーは、前記ガイドプレートと一体的に成形される、請求項１０に記載のネックリングガイド。

【請求項１２】

互いに近付けたり遠ざけたりすることができる向かい合ったネックリング部分（３０、３２）を有する、ネックリング（２６）を含み、

前記ネックリング部分の各々は、ネックリング部分の両側の外周面部分に、間隔をへだてた平行ガイドスロット（３４、３６および３８、４０）を有し、

請求項１乃至１１のいずれか１項に記載のネックリングガイドを含む、

ガラス製品成形機械のためのネックリング組立体において、

前記間隔をへだてた平行ランナーが、前記ネックリング部分の前記ガイドスロットに受け入れられる、

ことを特徴とするネックリング組立体。